

愛媛県立新居浜病院ニュース

Vol.29 平成29年1月号

目次

- P1
院長ご挨拶
連携交流会のお知らせ
- P2
新任医師紹介
院内ボランティアの様子
- P3
地域包括ケア病棟について
- P4
看護部部署紹介(2病棟)
- P5
コメディカル紹介(薬剤部)
- P6
院内イベントの様子
(クリスマスコンサート)



院長ご挨拶

明けましておめでとうございます。新しい年の幕開けに皆様方はどのような思いをはせておられるのでしょうか。

昨年は国内では熊本地震、鳥取地震、年末には糸魚川市で平成になって最も大きな火災が発生しました。海外に目を向けると、共和党トランプ氏の米国大統領選勝利、フィリピンのドゥテルテ大統領の登場、お隣韓国ではパク・クネ大統領の弾劾裁判の開始、年末にはロシアのプーチン大統領の訪日など政治的に大きな話題が多かったように思います。さて、今年はどんな変化が起こるのでしょうか。

当院も昨年より新しい病院について検討を重ねております。現在の建物はすでに40年以上を経過し、老朽化が著しく、また複雑な構造を有しているため、来院される多くの方々にご不便をおかけしています。出来るだけ早い時期に結論が出されることを希望しているところです。

昨年末、少し考えさせられる出来事がありました。お元気で病院にかかったことがないという方々が何名か紹介されてこられました。大きな病気は、時として静かに気付かれることなく、人々の体を蝕んで行きます。しかし、大きな病気も早い時期であれば簡単に治療が終わる場合もあり、改めて検診や人間ドックなどの事業や予防医学の重要性を痛感しています。一生健康で過ごせる方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか？人間歳を重ねるにつれてガタがきて当たり前です。今一度ご自身の健康について考えていただけたら幸いです。

当院も地域の皆様方の健康を支えていけるよう、職員一同日々の診療に全力で取り組んでまいります。本年も新居浜病院をどうかよろしくお願い申し上げます。



院長 酒井 堅

第10回地域医療連携交流会を開催します！

日時：平成29年2月16日(木) 18:30～20:45(予定)
場所：リーガロイヤルホテル新居浜(2階 伊予の間)
内容：講演・交流会

◎演題「災害拠点病院としての当院の災害対応について」

(愛媛県立新居浜病院 災害医療センター長 明比 俊)

御参加・御協力の程、よろしくお願いいたします。

新任医師紹介



高木 太郎

(たかぎ たろう)

耳鼻いんこう科医師

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 親孝行

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 患者様自身が病気のことをよく理解できるよう心がけています

Q3 趣味・特技は？

A3 サッカー、マラソン、パン作り、家庭菜園、家具作り

Q4 ひと言どうぞ！

A4 頑張ります！

はじめまして



横山 真紀

(よこやま まき)

産婦人科医師

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 人や社会に貢献できる仕事に就きたかったから

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 丁寧に説明すること

Q3 趣味・特技は？

A3 映画鑑賞、ドライブ

Q4 ひと言どうぞ！

A4 人生初の東予地域での仕事で、不慣れなところも多く、ご迷惑をおかけするかと思いますが、新居浜の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします！



院内ボランティアの様子



昨年夏（H28.8.3）に病院職員が敷地内の清掃・草むしりを行いました。

新居浜病院はとにかく緑が豊富！

患者様や職員の癒しとなっているのはとても良いのですが、毎年夏頃はお手入れが大変…。

今年は院内清掃があることを聞きつけた近隣の中学生が自主的に

手伝いに来てくれるという嬉しいサプライズが！

地域の皆様に支えられていることを実感できた一日でした。





地域包括ケア病棟オープンのお知らせ

当院では、急性期治療後のリハビリ・在宅復帰に向けた医療や支援を行うため、平成28年9月から「地域包括ケア病棟」をオープンいたしました。

地域包括ケア病棟とは

「地域包括ケア病棟」とは、急性期治療を経過した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰に向けた医療や退院支援を行う病棟です。

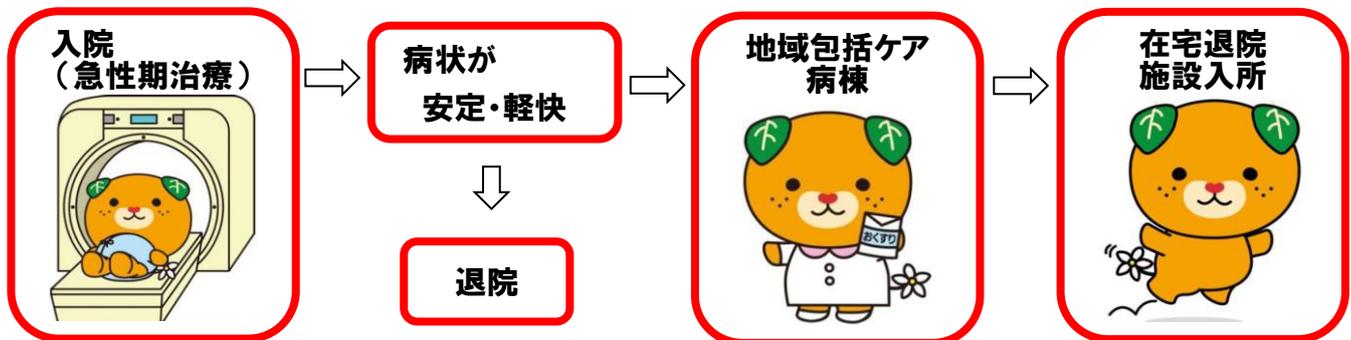
<2病棟 38床>

在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で社会復帰できる患者さんの為に、当院では「地域包括ケア病棟」を準備し、安心して退院していただけるよう支援していきます。

患者さんの心身が回復するよう医師、看護師、病棟専従の理学療法士等が、在宅復帰に向けた治療・支援を行うほか、患者さんの退院支援、退院後のケアについてサポートさせていただきます。

地域包括ケア病棟に転棟する場合

一般病棟から地域包括ケア病棟へ転棟していただく場合は、主治医が判断して患者さんやご家族に説明させていただきます。



入院費について

地域包括ケア病棟に入院された場合、入院費の計算方法が通常とは異なり「地域包括ケア病棟入院料1」を算定いたします。入院費は定額の範囲内にリハビリテーション・投薬料・注射料・処置料・検査料・入院基本料・画像診断料等のほとんどの費用が含まれていますが、手術に関する費用は別に出来高算定となります。なお、自己負担限度額は一般病棟と変わりません。

その他

病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病棟に転棟する場合があります。

県立新居浜病院



2 病棟 地域包括ケア病棟

看護スタッフ：21名
 看護助手：3名
 病床数：38床
 対象診療科：全診療科

9月より地域包括ケア病棟として運営が開始しました。
 患者様が退院された後も、その方らしく地域で暮らしていくためには、何が最善なのかを常に考え看護を実践しています。
 地域の皆様のご期待に応えられるような病棟を目指しています。



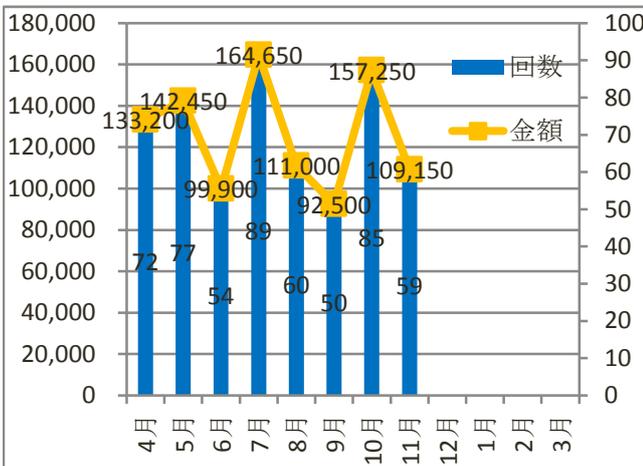
摂食嚥下リハビリ



カンファレンス



リハビリ風景



摂食嚥下療法算定 年間推移

地域包括ケア病棟退院実績

	H28. 9 月	H28. 10 月	H28. 11 月
退院患者数	24	39	43
①在宅	18	37	35
②介護老人 保健施設			2
その他病院 等	6	2	6
在宅復帰率	75%	94.9%	81.4%



みなさんこんにちは 県立新居浜病院 薬剤部 です。

◆薬剤部業務内容◆

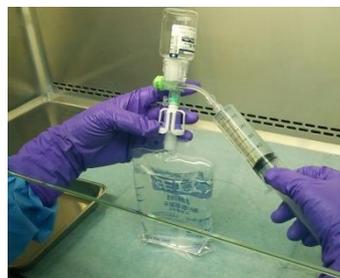
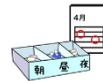
内服薬等の調剤・院内製剤、注射薬の個人別セット調剤、服薬指導・お薬相談、薬歴の管理、医薬品情報の収集提供、医薬品の管理と供給、薬剤管理指導業務、持参薬の確認業務、薬物血中濃度解析業務、抗がん剤の調製業務など、多岐に渡っており、限られた人数の中、ローテーションでの業務を行っております。



◆専門資格◆

日本糖尿病療養指導士	1名(岡田)
NST専門療法士	2名(佐津間、稲見)
認定実務実習指導薬剤師	3名(岡田、佐津間、稲見)
日本DMAT隊員	1名(佐津間)

◆抗がん剤調製◆<閉鎖式調製投与システム>



●薬剤部安全キャビネット内にて調製

●患者投与時の接続

当院では、『閉鎖式調製投与システム』を2016年8月より新たに導入しました。

閉鎖システムを使うことで、抗がん剤を外部に漏れなく薬剤師が調製でき、看護師が投与する時にも、周りに飛散する事なく投与が行えます。抗がん剤を今までより安全に扱う事が出来るようになりました。

◆ジェネリックQ&A◆

私がお答え
します!



松原巨育
薬剤部長

Q1. そもそもジェネリック医薬品とはなんですか？

A1. 長年使われてきた医薬品(先発医薬品)で特許の切れた薬と、主成分は同じで使いやすさに改良を加え、価格を抑えて作られた薬です。後発医薬品とも呼ばれます。

Q2. 安いって事が薬の効果も悪くなっているイメージがあつて…。

A2. 主成分は同じものを使用しており、『有効性や安全性』が先発医薬品と同等であると厚生労働省に認められたものが製品となっています。

Q3. 「主成分は」ということは別の部分が違うということですか？

A3. 例えば錠剤の場合、錠剤を構成するものは効果を表す成分の他に口の中で溶けて飲みやすくする添加物や、薬の苦みなどの味を隠して飲みやすくしてくれる添加物などが使用されています。先発と後発では、その部分が異なります。

Q4. テレビでも推進されていますよね？なぜですか？

A4. 日本の医療費は年々増加の一途をたどっています。その中で、薬にかかる費用も多くを占めています。少しでも今後の医療費削減のために後発品への変更にご協力をお願い致します。



昨年12月、2組のゲストをお招きし、クリスマスコンサートを開催しました！

まず1組目は **愛媛県立新居浜西高校合唱部** の皆さん！

県内外のコンクール等でも優秀な成績を収められている新居浜西高合唱部の皆さん。

クリスマスソングからピアノソロ、ハーモニー豊かな合唱曲といった素敵な音楽を幅広く10曲以上も演奏してくださいました。



高校生ならではの若さと、ハーモニーを揃え、音楽を創り上げていく大人の部分の両方が感じられる演奏に、聴きにいられた患者様・職員・その他関係者一同、胸を打たれました…。

そして2組目はこの方！



マクドナルドのマスコットキャラクター、
ドナルド・マクドナルド！

小児病棟に登場し、入院中の小児患者様と触れ合ったり、新居浜西高合唱部の演奏の後、コンサート会場をゲームやクイズ大会で盛り上げてくださいました。

彼の一挙手一投足で、病棟や会場が笑顔であふれる様子を見て、ドナルドが世界中で愛されていることにとても納得した筆者でした。

